

あい、風通信 32号

応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

学びのスタンプ通算 39 号



平成 29 年度 主催講座のご案内

今年度の主催講座が決まりましたのでお知らせします。講座数は 16 講座・34 コマ開講します。今年度の特長のひとつは、これまで好評をいただいたバスを利用した見学・体験的内容の講座が 12 回実施（過去最多）されます。詳細は同封の「2017 年度講座一覧」パンフレットをご覧ください。今年も、魅力満載の主催講座をお楽しみください。

4 月からの講座案内

講座 1 アイヌ政策と憲法

【講師の都合により中止になりました】

講座 2 続・北前船ものがたり

昨年に引き続き皆さんの関心の高い北前船についての講座を設定しました。一回目は北前船を通じて北海道と北陸のつながりについて小樽商大の高野宏康先生の講演です。二回目はバス研修で北前船ゆかりの地小樽でその痕跡や倉庫群、博物館等を元小樽博物館館長土屋周三氏の案内で訪ね歩き、当時の繁栄の姿を見聞します。

講座 3 菅井貴子さんの気象学講座

気象報道現場で長年活躍されている気象予報士菅井貴子さんを講師に講義いただきます。第 1 回「気象から見た北海道の魅力と道民性」第 2 回「最近の気象と異常気象」第 3 回「気象予報の現場と報道」気象と生活環境との関わりについて新たな視点から学びます。

講座 4 躍進する石狩湾新港～北電 LNG 火力発電所の建設現場を訪ねて～

北電では LNG（液化天然ガス）を用いた火力発電所を現在石狩湾新港地区に建設中です。LNG 火力発電は、発電効率が高く二酸化炭素などの排出量が少ない環境特性に優れた発電法です。工事中だからこそ見えてくる場所が多くあります。建設工事中の発電所本体および LNG タンク（2 基）の 2ヶ所を見学します。

講座 5 坂と歴史の港町・小樽の歴史的建物を訪ねて

小樽には数多くの歴史的な建造物が現存し、漁家、倉庫、銀行など多種多様な建物があります。これらの建物は、当時の最先端の技術や洗練されたデザインが施され、優れた文化遺産として、今でも高く評価されています。講座では、これらの建物を見学し、小樽の歴史を学びます。

講座 6 道庁赤れんが庁舎「北海道の歴史画」を鑑賞しよう

「道庁赤れんが庁舎」は、昭和 43 年(1968)開道百年記念、次の年には国の重要文化財に指定されたことを記念して、北海道ゆかりの著名な画家 20 人に「北海道の歴史画」制作を依頼しました。講座では、これら絵画の鑑賞を通して北海道の歩みを学ぶとともに、道庁赤れんが庁舎の見学も行ないます。

市民カレッジデータ

(3月23日現在)

- 登録者～203人
- 連携団体～106団体



□ゴ制作者
丸山英里子さん

平成 29 年度「まちの先生企画講座」ご案内

今年度の「まちの先生企画講座」は、4講座・13コマと決まりました。いずれも特色あるユニークな内容となっています。詳細は同封の「2017年度講座一覧」パンフレットに掲載しましたので、ぜひご覧のうえ参加をお待ち申し上げます。

まちの先生企画講座 講座1 スマホで楽しむ趣味のアート写真術

スマートフォンを使ってマクロ写真(超近写)など驚くようなアート写真を撮る方法や撮り貯めた写真の楽しみ方、観せ方を学びます。2回目は、実際に撮影するため会場が違いますのでご注意ください。また、マクロ撮影には専用の付属品(1,600円程度)が必要なので、1回目にご紹介します。

第16回修了証授与式を行いました



3月16日(木)市役所ロビーで授与式を行いました。受証者は14名でブロンズ(30講座)2名、ゴールド(90講座)4名、ダイヤモンド(200講座)3名、スーパーダイヤモンド(300講座)2名、マスター500(500講座)1名でした。各ステージの修了証が学長である田岡克介市長から一人ひとりに手渡された後、4階会議室で和やかに懇談しました。受証された14名の皆さま、おめでとうございます。

平成 29 年新年交流会

1月25日(水)いしかり市民カレッジ平成29年新年交流会を市民プール2階で行いました。今年は、カレッジ生4名、講師4名、連携団体2名のほか市教委、運営委員を合わせ36名の参加がありました。石井委員長の挨拶、佐々木生涯学習部長の乾杯で始まり和やかに進むなか、カレッジ生や講師からカレッジへのコメントをいただきました。講師の山本さんのマジックや高橋委員のオカリナ、林委員のハーモニカ演奏などで盛り上がるなか時間となり鎌田教育長の締めで交流会は終了しました。皆さんとは今後のカレッジの在り方などについてじっくりお話する事が出来て、大変有意義な交流会となりました。

公民館まつりで展示しました



3月4日(土)~5(日)に行われた公民館まつりに参加しました。例年通りにカレッジの活動を展示、PRを行いました。今年は講座の写真を増やし活動の内容が一目で分かるよう工夫をしました。また4日13時から視聴覚室でミニ講座として村山耀一さんの「家印・屋号・家紋についての豆知識」を行い意味や由来を分かり易く説明し大勢の聴衆を魅了しました。

受講者の声

講座 12. 北海道 150 年物語

北海道開拓の史実をこれ程迄に詳細に受講できた事は初めて。これを期に、自分の先祖の歴史を調べ再認識したい。幼少の頃先祖の苦勞を祖父母が話してくれたことを思い出し大変有意義でした。北海道の開拓がお雇い外国人の貢献で行われたことを改めて認識できた。

講座 13. 石狩の漁業 ～今、石狩でどんな魚介類が獲れるの？種類と漁獲量の移り変わり～

魚の寿命が短いのに驚いた。資源保護の為の研究をあまり考えることがなかった。ホタテの養殖とサケ、マスは知っていたが、ニシン、ハタハタの増養殖は知らなかった。

講座 14. 北前船ものがたり

今回の「北前船ものがたり」の全3回の企画は講師の顔ぶれ、テーマの選定、内容とも非常に満足するものだった。次年度は是非バスツアーで北前船の跡を訪ねていたらさらにグレードアップすると思う。北前船を北海道では弁財船と呼んでいたが明治以降もそうだったのか？

講座 15. イスラム教は平和的

～石狩の若者がシリアとヨルダン・ザアタリ難民キャンプで考えたこと～

日本のジャーナリスト達も囚われ殺されているが、現状を伝えようとした彼らの気持ちにも触れることができた。イスラム圏の人々のことを知らなさすぎると感じた。

講座 16. おもしろ石狩大百科 ～いしかり人物語～

今日の発展の基となった多くの方々のことを知り、感動した。同時に私達の祖先も他県から入植し、道内の地で開拓に従事したことに、想いを巡らせる機会をいただいた。スタッフ講座は1講座に講師二人入れるのは無理がある。充分時間を取ってじっくりと聞きたかった。井上伝蔵の話は市長が最もふさわしい話し手と思った。時代背景もふくめ深く広い知見での話は楽しい有意義な時間だった。

更新手続きと新規カレッジ生勧誘のお願い

～ 29 年度が始まりました ～

既に受付中の更新手続きと年度会費（1,000 円）の納付をよろしくお願ひします。

また、知合いなどに皆様から新規カレッジ生としての勧誘をお願ひします。

★ 会費持参の場合 ①公民館での受付 ②主催講座会場での受付

★ 会費振込みの場合 ③ゆうちょ銀行での振込（手数料はカレッジ負担）

口座名 いしかり市民カレッジ運営委員会 口座番号 02780398172

★ お問い合わせは市民カレッジ事務局（石狩市公民館 ☎0133-74-2249）へお願ひしま

【編集後記】 あい風通信はゲラ刷りの状態まで「いしかり市民カレッジ運営委員会」の編集担当者が作成し、石狩市公民館と協働しています。適切で見やすい紙面を求めていますがいとは裏腹に毎号反省の繰り返しです。しかし時間とともに思い出と愛着がわいてきます。皆さまも編集担当者になりませんか。（s.n）

■ 発 行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：中川、勝木、石井、光川、三上

■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北 6 条 1 丁目 42

TEL : 0133-74-2249 FAX : 0133-74-2249

E-mail : kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

HP アドレス : <http://www.ishikari-c-college.com/>